

ともかわさきパラアートニュース

第10号 令和3年2月発行

<beyond2020プログラム>

ともかわさきパラアート活動が2月21日付けで「beyond2020プログラム」の認証をいただきました。多様性に配慮した障害者にとってのバリアを取り除く取組として申請していました。



『beyond2020プログラムとは：2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として認証する。』

<まちかどパラアート展>

令和2年度に計画していました「ひらま開設記念パラアート絵画展」が新型コロナウイルス感染予防の観点から中止・延期となりました。これに代わる新たな絵画展を令和3年度に開催しようと企画に取り組んでおります。

ただいま、いろいろな皆様に企画のご説明に伺っているところです。

多くの皆様にご賛同をいただき、開催できるように進めてまいりますので、ご支援をいただければ力になりますのでよろしくお願いします。

<パラアートデザインのマスク>



COLORSかわさき展2020に「第1やまぶき」から出展した作品「ZEBRAしまうま：池田末子作」が音楽のまち・かわさきPRグッズのマスクデザインに採用されました。すごい！良かった。このマスクは令和3年3月から800円で販売されるそうです。限定600枚、少な。

パラアートデザインのマスク入れに続いてともかわさきの事業所でのパラアート活動が活かされることになりました。

今回は、相手方へのデザイン提供という形でしたが、これからも、ともかわさきのパラアート活用事業としてパラアート作品（デザイン）を使ったグッズなどの製作に積極的に取り組んでまいります。

＜ともかわさきパラアート絵画inパブリック＞

ともかわさきパラアート振興基金では、パラアート絵画作品を公共的な場所や施設などに展示していただくことで、より多くの皆さんに接していただく機会ができる活動として「パラアート絵画inパブリック」をすすめています。これまでもご賛同をいただき、事業所利用者のパラアート絵画を区長室や信用金庫、団体事務所、福祉施設会議室、個人宅などに飾っていただいています。



宮脇局長

馬場部長

2月8日、なかはら障害福祉施設ひらまを視察にみえられた宮脇健康福祉局長様、馬場健康福祉局総務部長様も視察後、施設に展示のパラアート絵画をご覧になり、ともかわさきパラアート活動にご賛同をいただくとともに、展示絵画をお買い上げの上、



局長室に飾っていただけることになりました。宮脇局長様は「蛍の炎：加藤武之作」と「たつまき：松本陽聖作」をお選びになり、馬場部長様は「にこにこ」をお選びになり



ました。健康福祉局を訪れる皆さんや職員の皆さんの眼にパラアート絵画が触れることで川崎市の障害福祉への理解が更に進むことを期待したいと思います。ありがとうございました。

＜パラアートデザインの名刺＞

パラアートを活用した名刺を作製しようと思っています。どのようなものが出来上がるかはわかりませんが、試しにいくつかサンプルデザインを作成してみました。

皆さんはどんな感じが好きでしょうか？令和3年10月にともかわさきが川崎市から運営を引き継ぐ「就労継続支援B型事業所おおしま」でもこうした名刺の製作ができたらいかなと感じています。

＜ともかわさきパラアート絵画集＞

ともかわさき事業所関係でのパラアート絵画を「パラアート絵画inパブリック」で賛同をいただく皆さんに紹介する「ともかわさきパラアート絵画集」には36作品を掲載しています。ただし、ご購入、展示いただいた作品は絵画集からは非掲載となります。事業所で描かれた絵画のご提供をいただければ幸いです。

これからも継続的にパラアート絵画を紹介していくためにも、多くの絵画作品を掲載していきたいと思っています。